

# 【高知県】 【高知労働局】 「高知U・Iターンサポートガイド」を作成

## 【課題・目的】

高知県では、人口減少、少子高齢化が全国に先行して進展しており、人材の地元定着のみならず、県外からの人材還流、U・Iターンの促進が課題となっている。

U・Iターン就職については、**仕事と移住先選びが重要**となるため、高知県の移住支援策とも連携しながら、「高知U・Iターンサポートガイド」を共同で作成し、**情報発信を強化**することで、移住者が安心して仕事と住まいを探ることができるようにした。

なお、平成26年7月に県知事と高知労働局長で締結した「高知県雇用対策協定」の事業計画において「高知U・Iターンサポートガイド(※)」の積極的な周知を盛り込んでいる。

※ [http://kochi-roudoukyoku.isite.mhlw.go.jp/riyousha\\_mokuteki\\_menu/kyushokuchu/kyushokusha\\_jouhou/\\_120211.html](http://kochi-roudoukyoku.isite.mhlw.go.jp/riyousha_mokuteki_menu/kyushokuchu/kyushokusha_jouhou/_120211.html)

## 【実施概要】

高知県と連携、協働し、U・Iターン（移住）支援に係る労働局、ハローワーク、高知県及び産業雇用安定センターの支援内容や相談窓口を取りまとめた「高知U・Iターンサポートガイド」を作成。

また、東京、大阪で開催する「高知県U・Iターン就職相談会(※1)」(国の委託事業)と「高知暮らしフェア2015(※2)」を同時開催し、移住希望者に「高知U・Iターンサポートガイド」を積極的に周知。

※1 県経営者協会(労働局が委託)がハローワークの求人情報や県内企業の情報提供。県は起業、創業、公務就職等の相談を実施。また、県内市町村が移住相談ブースを設置。

※2 県移住促進課が事務局となり、県内企業(約20社)による就職相談会を実施。先輩移住者を講師にセミナーも開催。ハローワークは就職相談、求人情報提供などを実施。

## 【役割分担】

### 【高知県】

- ◆高知県、U・Iターン就職相談窓口等で1,000部を配布

### 【労働局】

- ◆各種会議(高知県移住推進協議会等)、ハローワークで500部を配布

## 【効果】

- ◆高知県の様々な移住促進に関するPR効果により、県外からの7月末移住者178組(前年同期129組、前年同期比138%)



## <高知県コメント>

高知県へ移住を考えている方々へ、移住やU・Iターン就職の相談窓口を情報提供し、高知県への移住促進を図るためのツールとして活用していきたい。

## <労働局コメント>

U・Iターン支援のためには、まずU・Iターン希望者を掘り起こすことが重要であり、移住から仕事まで網羅的に記載されているこのガイドの役割は大きい。

希望者の掘り起こし後は、ハローワークの全国体系により、最寄りのハローワークでU・Iターンの相談や求人検索、マッチングを行い高知県へのU・Iターンを進めていく。